

ハンググライディングシリーズ規則

1-1. 【FAI Sporting Code】

1. ハンググライディングシリーズの競技規則は、FAI Sporting Code の General Section と Section7 を前提として設定されている。参加選手はその双方を良く理解した上で大会に参加すること。

1-2. 【ハンググライディングシリーズ年度】

1. 年度は1月1日に始まり、12月31日に終了する。(大会成績の公式発表される日付で管理される)

1-3. 【ランキング】

1. ハンググライディングシリーズランキングは、ハンググライディングシリーズの順位を決めるものとする。
2. 世界選手権選抜ランキングは、次回世界選手権の出場選手を選抜するためのものとする。

1-4. 【対象大会】

1. JHF が公認したハンググライディングシリーズの大会のみが対象となる。
2. ただし、海外獲得ポイント換算規則を満たした国外大会におけるフライトについては、ハンググライディングシリーズランキングの対象となる。

1-5. 【ハンググライディングシリーズ登録】

1. ハンググライディングシリーズの大会にエントリーした時点で、自動的にハンググライディングシリーズに登録されるものとする。
2. ハンググライディングシリーズに登録されるのは、日本国籍を有する者、または、日本国内に居住する者とする。ただし、それ以外の選手の得点もハンググライディングシリーズランキングには掲載する。

1-6. 【ハンググライディングシリーズランキング】

1. ハンググライディングシリーズ対象大会中のフライト得点からシリーズポイントを計算し、計上本数分だけ加算してランキングを決定する。

シリーズポイントは、フライト得点に参加人数の係数を加味したものとする。

シリーズポイント = フライト得点 × 参加人数係数

フライト得点は「ハンググライディングシリーズ競技規則」の「得点計算」に基づいて計算される、デイリーの得点

参加人数係数 = $1.0 - 0.01 \times (45 - \text{競技参加人数})$

ただし、参加人数係数の最大値は 1.0 とする

2. 合計得点の高い者から順位をつける。
3. 合計得点の同じ者は、係数を加味する前の得点の合計が多い者を上位とする。
4. 計上できるフライト要件はフライト成立要件に準ずる。
5. 年間を通して、計上本数は以下の通りとする。

DQ0.5 が 16 本以上 6 本計上

13～15 本 5 本計上

10～12 本 4 本計上

7～9 本 3 本計上

4～6 本 2 本計上

1～3 本 1 本計上

6. 別紙「海外獲得ポイント換算規則」に従って、国外で行われた大会の得点を計上できる。計上できる本数は以下のとおりとする。

年間の計上本数が 5～6 本 うち 2 本海外獲得ポイントを計上できる

年間の計上本数が 1～4 本 うち 1 本海外獲得ポイントを計上できる

1-7. 【世界選手権選抜ランキング】

1. 世界選手権の前年度のハンググライディングシリーズランキングにおけるポイント 100%と、前々年度のハンググライディングシリーズランキングにおけるポイント 50%の合計により順位をつける。ただし、前年度は、世界選手権初日の 6 ヶ月前までに終了した大会を対象とする。
2. 合計得点の同じ者は、世界選手権前年度のハンググランドディングシリーズランキング上位の者を上位とする。
3. なお、2025 年の世界選手権選抜については、2022 年の 50%、2023 年の 50%、2024 年の 100%の合計により順位をつける。

1-8. 【世界選手権選抜基準】

1. 日本代表チームは、ワイルドカード 1 名を選抜し、残りのチーム定員までを世界選手権選抜ランキングから選抜する。ワイルドカードの要件は以下に示す。ただし、ワイルドカードの要件を満たす選手がいない場合は、チーム定員すべてを世界選手権選抜ランキングから選抜する。
 - ・世界選手権選抜ランキング 50 位以内であること
 - ・プレ世界選手権において、参加選手の 30%以内かつ 30 位以内の成績を獲得し、日本人選手のなかで最上位であること
2. 選抜された選手が世界選手権の 1 年前までに参加の意思を表明しなかった場合、次点の選手に権利を移行する。
3. 世界選手権の前々年度末から原則として世界選手権の 1 年前までの間に、競技委員会は、各選手の参加意思を確認して日本代表チームを決定し、その中から選手会長を指名する。選手会長は、JHF や世界選手権オーガナイザーとの渉外、代表選手の取りまとめ等を行う。